

川魚お料理コンテストin河辺

「河辺の未来を考える会」主催の川魚料理コンテストが2月11日(日)、河辺ふるさとの宿で開催されました。この催しは、河辺町の特産品である川魚を広くPRし、新たな川魚料理を生み出そうと企画されたものです。

コンテストには、イングリッシュマフィンを使った「アマゴのオープンサンド」や、「イワナのコンフィ」、「アマゴの手まり寿司」など第1次審査を通過した13品が第2次審査に挑みました。創造性や独創性の高い料理に、審査員のみなさんは、悩みながらも厳正な審査を行っていました。

最優秀賞には、伊予郡松前町在住の古川真道さんの料理「虹マスの軽いスモーク2種」が選ばれました。ニジマスの薫製とチーズは相性が良いはずだと、この料理を



最優秀作品
「虹マスの軽いスモーク 2種」



思いついたそうです。

優秀賞には、大洲農業高等学校の「禁断のアップルグラタン」、河辺町から応募の「魚カツバーガー」が選ばれました。

コンテスト後には、審査委員長である料理研究家・出張料理人の小暮剛さんが考案した新たな川魚料理2品が披露され、参加者のみなさんに振る舞われました。

河辺の未来を考える会の梅本健一会長は、「このコンテストに県内から多くの応募があり感謝している。そして、コンテストを通して河辺町の特産品である川魚を多くの方々に知っていただくことができた。応募していただいた料理や、小暮さんの新レシピを活用して、大洲市を代表する名物にしていきたい」と決意を新たにしていました。

高齢者叙勲



瑞宝双光章

津田 治雄 さん
(長浜町沖浦)

元愛媛県八幡浜地方局建設部長

津田さんは、長年にわたり地方自治業務にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。



瑞宝双光章

松本 正志 さん
(長浜町下須戒)

元公立小学校長

松本さんは、長年にわたり教育業務にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

差別のない社会を目指して



大洲市人権同和教育研究大会が2月15日(木)、国立大洲青少年交流の家で開催されました。

全体会では、舞台女優の有馬理恵さんによる一人芝居と、幼少の頃の部落差別の現実についての講演がありました。今日、差別の現実が見えにくくなったと言われているが、有馬さんの体験談をとおして、参加者のみなさんは被差別部落の現実を改めて知ることができ、部落差別解消への意欲を高めました。

えひめ国体・えひめ大会のご協力に感謝

愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会大洲市実行委員会第5回総会が、2月24日(土)、大洲市総合福祉センターで開催されました。実行委員会の会長である清水市長は、「大会に関わったみなさんのご協力に感謝申し上げる。この大会を地域のスポーツ振興につなげていきたい」とあいさつしました。

総会の終了後、えひめ国体とえひめ大会の運営に協力いただいた市民のみなさんが招待され、大洲市民感謝祭が開催されました。



旅客輸送と物流の要 ～開通100周年記念式典～



愛媛鉄道(予讃線)「伊予大洲駅～伊予長浜駅間」開通100周年記念式典が、2月14日(水)、伊予大洲駅で開催されました。

清水市長は「大洲～長浜間は、100年前に開通した歴史ある路線。これからも魅力あふれるイベントを通して、『伊予灘ものがたり』のように活力ある路線になってほしい」とあいさつしました。

今後は、100周年を記念したさまざまなイベントが行われる予定です。

豊茂を支え続けて半世紀 ～豊友会発足50周年記念大会～

豊茂地区の地域づくり団体「豊友会」の発足50周年を記念した大会が、2月18日(日)、豊茂公民館で開催されました。

50年間を振り返る活動報告や、「人間牧場」(伊予市双海町)の牧場主である若松進一さんによる講演と意見交換が行われ、コミュニケーションの輪が一層広がりました。

また、「明るく楽しく前向きに 心のふれあう豊茂づくり」と決意を新たに大会宣言が発表されました。



防火・防災への意識 新たに

—平成30年大洲市消防出初式—



平成30年大洲市消防出初式が3月4日(日)、若宮の河川敷グラウンドで行われ、市内各地から1603人の消防団員が参加しました。

式では、殉職消防職団員に対する黙とうを捧げた後、各分団によるポンプ車操法・小型ポンプ操法・小隊訓練などが披露されました。団員の統制のとれた動きに、会場からは大きな拍手が送られました。

清水市長は防災に対する日々の取り組みに感謝を表すとともに「近年は災害、地震が頻発し、消防団員の活動が地域防災の中核として、大きな役割を果たすことが期待されている。今後も、団員の確保と施設整備をはじめ、安全で安心できるまちづくりに全力で取り組みたい」と式辞を述べました。

その後、活動に功績のあった団員のみなさんに表彰状や感謝状が贈呈されました。受章者を代表して、上須戒分団白石猪^{しし}夫分団長が「今回の受章は、支えてくれた家族や、消防団活動への理解をいただいた職場のみなさんのおかげ。今後も、地域住民の生命と財産を守るという消防使命達成に向けて、訓練や知識の習得を続けていきたい」と謝辞を述べました。

今回の出初式で表彰されたみなさんは、次のとおりです。
(敬称略・一部省略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章(4人)

副団長 和左衛門 栄重
 肱南分団 分団長 福岡 昇
 肱北分団 分団長 富永 憲司
 出海分団 分団長 鈴木 与造

日本消防協会会長表彰

功績章(1人)

精績章(4人)

副団長 岩田 清一
 平野分団 分団長 松田 裕之
 菅田分団 分団長 松本 喜吉
 長浜分団 分団長 浅井 三輝
 勤続章(15人)

肱南分団 分団長 藤本 浩志
 肱北分団 分団長 富永 憲司
 南久米分団 分団長 前川 博
 大川分団 分団長 石神 明
 大川分団 分団長 寺岡 博
 大川分団 分団長 村中 利博
 上須戒分団 分団員 高橋 裕司
 上須戒分団 分団員 稲田 久光
 出海分団 分団長 鈴木 与造
 出海分団 分団員 畑山 臣
 大和分団 分団長 仲田 浩二
 白滝分団 分団員 坂田 憲昭
 白滝分団 分団員 富永 志郎
 大谷分団 分団長 大野 正光
 大谷分団 分団員 上仲 伸二

愛媛県知事表彰

功労章(9人)

大川分団 副分団長 河内 裕治
 柳沢分団 副分団長 山元 道稔
 上須戒分団 副分団長 白石 猪夫
 上須戒分団 副分団長 林田 成俊
 喜多灘分団 副分団長 宮田 勇二
 大和分団 副分団長 増田 吉邦
 中央分団 副分団長 二宮 孝志
 予子林分団 副分団長 濱田 律朗
 女性分団 分団長 二宮 小百合

愛媛県消防協会会長表彰

功績章(6人)

柳沢分団 分団長 福住 幸尚
 新谷分団 分団長 矢野 秀次
 長浜分団 分団長 浅井 三輝
 大和分団 分団長 仲田 浩二
 中央分団 分団長 城戸 光二
 大谷分団 分団長 久保 壽男

勤続章(20人以上)

肱南分団 分団員 上田 洋一
 菅田分団 分団員 二宮 正
 大川分団 分団員 城戸 貴義
 大川分団 分団員 永田 祐二
 三善分団 分団員 山本 秀俊
 三善分団 分団員 粟津 信行
 上須戒分団 分団員 西田 信
 正山分団 分団員 安川 正信
 正山分団 分団員 宮川 雅光
 大谷分団 分団員 大塚 正樹
 勤続章(15年以上) 20人
 肱南分団 分団員 二宮 聖
 肱北分団 分団員 二宮 聖

勤続章(10年以上、15年未満30人)

平野分団 分団員 板倉 崇浩
 南久米分団 分団員 上野 修一
 菅田分団 分団員 山下 明男
 大川分団 分団員 大久保 秀明
 柳沢分団 分団員 堀井 敏寿
 新谷分団 分団員 尾崎 寛
 三善分団 分団員 佐野 伝弥
 喜多灘分団 分団員 新田 巳司
 上須戒分団 分団員 稲本 幸平
 長浜分団 分団員 哇地 幸治
 大和分団 分団員 大津 宝仁
 白滝分団 分団員 井上 九錦
 正山分団 分団員 吉田 十修
 大谷分団 分団員 沖田 修二
 河辺分団 分団員 森岡 成実
 女性分団 分団員 河野 淳子

肱南分団 分団員 青木 克憲
 肱北分団 分団員 大石 伸泰
 肱北分団 分団員 栗田 裕之
 平野分団 分団員 是澤 和夫
 平野分団 分団員 西川 明
 南久米分団 分団員 山田 淳
 菅田分団 分団員 森 勉哲
 菅田分団 分団員 中野 清喜
 大川分団 分団員 松岡 慶幸
 大川分団 分団員 宮川 裕司
 柳沢分団 分団員 村上 徹
 新谷分団 分団員 西岡 新太郎
 三善分団 分団員 東原 秀章
 三善分団 分団員 矢野 秀明
 上須戒分団 分団員 青木 美都男

大洲市長表彰(52人)

大洲喜多消防団連合会長表彰

規律章(20人)

勤続章(28人)

大洲市消防団長表彰(35人)

大洲市消費生活相談窓口通信

訪問して貴金属を買い取る

悪質な「訪問購入」にご用心！

訪問購入の手法

訪問購入では、訪問に先立って、電話などで連絡し、買い取りしようとする物品の種類を明らかにし、相手の承諾を得る必要があります。



不用品はありませんか。
いらなくなった古着や靴
をご自宅まで買い取りに
うかがいます。

悪質な訪問購入の手口

悪質な訪問購入では、電話で承諾した物品の種類以外を買い取られます。

訪問を承諾し、買い取りに来ると、買い取って欲しい物の査定は



「消費者庁イラスト集より」

すぐ終わらせ、「貴金属はないか」と言って居座り、出した貴金属を二束三文の金額で買い取られます。

ひいこと助言

▽事業者は、事前に承諾を得た物品の種類以外の買い取りを求めることは禁止されています。

▽売却した物を取り戻したい場合、8日間はクーリング・オフが利用できます。

お困りの際は問い合わせ先までご相談ください

【問い合わせ先】

大洲市消費生活相談窓口

☎241790

※土日、祝日の相談窓口は、

消費者ホットライン ☎188

【相談受付時間】

午前9時～午後5時

※土、日、祝日は除く。

野鳥

キレンジャク

(黄蓮雀)

スズメ目レンジャク科

全長 19.5cm



広くユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部で繁殖して、越冬のため南下してくる野鳥です。他の鳥より飛来が遅く、年明けに、この仲間に出会うことができます。

キレンジャクは北日本に多く見られ、ヒレンジャクは西日本に多いと言われています。りりしい顔つきはどちらも同じで、尾羽の色で見分けられます。野鳥愛好家のみならず人気のある野鳥ですが、道路沿いや庭先に植えられたモチやピラカンサ、河川敷のエノキに生えたヤドリやキツタの実を好んで食べるので、人目に付きやすいのかもしれません。

近年、公園や堤防が整備されていますが、そこに共存する植物や野鳥などにも配慮した都市整備が出来れば、野生の生き物たちにはもちろん、人々には癒しの空間として素晴らしい場所になると思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財

東宇山のクワ

大洲市指定天然記念物

個人所有



本樹は、五郎・春賀地区との間にそびえる感応寺山（標高688m）の南面中腹に位置します。推定樹齢約100年を数え、幹周約1.8m、樹高約13mで市内のクワとしては最大級の大きさです。

クワの葉は、カイコの餌として古くから重宝され、養蚕業には必要不可欠です。また、熟すと紫黒色になる果実はジャムや果実酒などに、根皮は生薬として利用されるなど、クワは人びとの生活と関わりの深い樹木といえます。

大洲は、明治期から昭和初期にかけて、養蚕・製糸業で大きく栄えたため、各地にクワが植えられましたが、現在では見る機会が少なくなりました。本樹は樹齢からみて、この養蚕・製糸の発展期に芽生えたと考えられ、大洲の近代産業を支えた養蚕・製糸の歴史を表す象徴的な樹木といえます。

(昭和63年12月21日指定)

【チンゲン菜の海鮮あん】



材料（4人分）

チンゲン菜	4株
シーフードミックス	100g
ニンジン	5cm
サラダ油	大さじ1
ニンニク（みじん切り）	1かけ
ショウガ（みじん切り）	1かけ
水	300ml
A { 砂糖	大さじ1
しょうゆ	大さじ2
酢	大さじ1
B { かたくり粉	大さじ1
水	大さじ1

作り方

- ① チンゲン菜は軸と葉に分け、葉はそのまま、軸は繊維に沿って細切りにする。
- ② ニンジンは薄い短冊切りにする。
- ③ 中華鍋にサラダ油を入れ中火にかけ、すぐにニンニク、ショウガを入れて炒める。よい香りがしてきたら強火にし、ニンジン、チンゲン菜の軸に加えて手早く炒める。全体に油が回ったら、シーフードミックス、チンゲン菜の葉、Aの順に加える。
- ④ フツフツ煮立ってきたら、Bを加えてとろみをつける。

チンゲン菜は、ビタミン・ミネラルをバランスよく含む低カロリーな野菜です。βカロテンやビタミンCも野菜の中では平均以上に含み、ヘルシーな健康野菜といえます。βカロテンには、抗酸化作用により病気や老化の原因となる活性酸素の発生を抑える働きや、免疫力の向上、発がん抑制作用があります。ビタミンCにも同じく抗酸化作用があるので、βカロテンとの相乗効果が見込めます。チンゲン菜は油料理との相性がよいので、脂溶性ビタミンのβカロテンを効率よく取ることができます。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

2014年から始まった、大洲ご当地クイズコーナーも今年で5年目を迎えることができました。大洲ご当地クイズは、大洲を知って、好きになってほしくて始めた活動です。好きな人、好きな食べ物など、好きが多い場所には、帰りたくなるのではないかと思います。新しい年度になり、旅立った学生たちもいつか大洲に帰って、就職をしてほしいものです。

【3月号のクイズ解答・解説編】

五郎の菜の花畑の河原に架かる赤色の橋、明治時代の名称は何でしょうか。

- ① 菜の花橋
- ② 畑ノ前橋
- ③ 五郎の畑橋



【今月のクイズ】

大洲市内の高校生へのアンケートで、「大洲に住み続けたい」、「戻って働きたい・暮らしたい」と回答した生徒の割合はいくらでしょうか。

- ① 約15%
- ② 約23%
- ③ 約40%



正解…②

解説…五郎の赤橋と言われることが多いですが、畑ノ前橋が正式名称です。昔から大洲市民の暮らしを支え、みなさんに親しまれてきた橋でもあります。大洲は、梅から始まり、シャクナゲ、菜の花、サクラ、アジサイ、ヒマワリ、コスモスと花を楽しめる場所が多いと感じます。

※今月のクイズの答えは、広報おおず5月号に掲載します。